

平成 27 年度 八洲学園高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 設置会場（キャンパス）一覧

名称	所有区分	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
本校事務センター	法人所有	593-8327	大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3	072-262-5849	072-262-8282
堺本校	法人所有	593-8327	大阪府堺市西区鳳中町 8-3-25	072-262-8281	072-264-0950
梅田キャンパス	賃貸	530-0003	大阪府大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 2F	06-6343-1173	06-6343-1174
三宮キャンパス	賃貸	651-0086	兵庫県神戸市中央区磯上通 8-1-33 幸和ビル 2F	078-261-2835	078-261-2836
横浜分校	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42	045-312-5588	045-312-5606
新宿キャンパス	賃貸	160-0022	東京都新宿区西新宿 7-11-18 711 ビル 7F	03-3225-5491	03-3225-5494
池袋キャンパス	賃貸	171-0022	東京都豊島区南池袋 3-11-10 ペリエ池袋 4F	03-5954-7391	03-5954-7503

2. 学生（生徒）の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成 26 年 5 月 1 日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) (②+③) ÷ ① × 100
通信制課程 (広域)	普通科	※※※※※※	3,000	1,189	540	170	57.63%

※④は通年での登録者数

(2) 平成 27 年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧 ※ 3 月初旬の対象者の数値のため、予想値

	入学者数(途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	700	700			約 20※	- 20
聴講生	170	—	—	—	—	—

3. 教職員関係

(1) 平成 27 年度管理職の概要

職名	氏名	備考（留任・新任等）
校長	林 周剛	留任
教頭	南條 将範	留任
教頭	吉田 士文	留任
事務長	島野 和美	留任

(2) 平成 26 年度教職員の概要（平成 26 年 5 月 1 日現在）（教員）（ ）は管理職の数。非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜に集約。

		合計（人）	堺本校	事務C	梅田	三宮	新宿	池袋	横浜分校
教員	本務	34 (3)	8	3	6	3	4	4	6
	非常勤	77	42						35
職員	本務	8 (1)	1	4	1		1		1
	兼務	10		7		1			

↓ ↓ ↓

平均年齢 ①専任・常勤の平均 教員 男 35.2 歳 女 35.8 歳 職員 男 45.0 歳 女 37.9 歳

②非常勤講師の平均 男 58.0 歳 女 46.2 歳

※ 技能連携校委嘱非常勤講師→42 名（7 校）は上記概要より除く

平成 27 年度予定 非常勤講師 関西一堺本校、関東一横浜分校に集約。

	採用区分	合計 (人)	堺本校	事務C	梅田	三宮	新宿	池袋	横浜分校
教員	本務	34 (3)	8	3	6	3	4	4	6
	非常勤	77	42						35
職員	本務	10 (1)	1	5	1		1	1	1
	兼務	10		7		1			

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

- 1、ベーシックサポートクラス・マイスタイルサポートクラスの定着化
- 2、ホームサポートクラスの人数増
- 3、中等部の人数増
- 4、生徒・保護者・一般の方に向けた特別公開講座の開設
- 5、新規エリアのキャンパス設置

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

平成 24 年度より運営を開始したサポートクラス事業は、完成年度の 3 年目を迎え 3 学年すべてに生徒さんが在籍する状況になった。特に、消費収支においては、平成 24 年度当初の計画を大幅に上回ることができた。

今後、ベーシックサポートクラス・マイスタイルサポートクラスは、全日タイプのクラス運営を基本とし、新入生の入学者数が前年度比割れをしないように募集活動に力を入れ、継続性、持続性を持った教育活動を行う。

ホームサポートクラスは、年々登録者数が増加してきている為、平成 27 年度も募集活動において重点的に力を入れ、更なる入学者数増を目指す。不登校傾向の生徒さんや支援を要する生徒さん達の教育には、ホームサポートクラスの学習環境が不可欠であり、これまでと同様に全力でサポートにあたる。

中等部は平成 26 年度開設初年度で、合計 10 名の登録があった。中等部に登録したすべての中学生の所属中学校とは連携を密にする

ことができ、該当の中学生の学習活動のサポートができた。平成 27 年度はさらに中等部の内容を周知してもらえるように、広報活動に取り組む。

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
27	サポートクラス運営の定着化 ホームサポートクラスの入学者増	3 学年がすべて揃ったサポートクラスの生徒入学者数を安定的に受け入れ、運営内容の充実を図り、運営を定着化させる。 また、不登校生や支援を要する生徒さんに対する、学習サポートをさらに拡充し、ホームサポートクラスの入学者数を増やす。	平成 24 年度より募集開始。 平成 26 年度の実績は会計書類参照。
27	中等部	平成 26 年度より新規で開設した中等部の登録者数を増やす。 不登校の中学生に対し新たな学び場を提供し、所属中学校への学習復帰の一助となる。	平成 26 年度より新規開設。
27	新地域へのキャンパス設置	サポートクラス専用の新しいキャンパス設置を目指す。 関東 → 東京都町田市での新規キャンパスの運営を準備する 地域密着型の新規キャンパスを同地区で設置し、新しい入学者エリアの開拓を行う。	平成 28 年度運営開始目標 物件は平成 27 年度中に選定予定。

② 施設・設備の整備計画

堺本校（1号館）および事務C 耐震補強工事に伴う建物検査（金額見積もり中）

(3) その他

①授業料変更等

		概 要
27	授業料変更はなし	

②卒業生数、就業者数、学位授与数の見込みについて

2、(2) の実数値を参照

③学生生徒の就職、進学状況について（27年3月卒業予定者 400名・技能連携校 143名 合計 543名の内

- ・大学進学者：83名 短期大学進学者：8名 専門（各種）学校進学者：82名 就職内定者（学校斡旋のみ）：14名
（H27.3月現在で未確定のため予定数）

④教職員採用・退職計画

年度	事 項	概 要
27	教職員採用（1年契約・常勤・非常勤講師・パート・アルバイト）	常勤講師（1年契約・10名）、 非常勤講師（1年契約・約80名）、 パート・アルバイト（1年契約・約10名） サポートスタッフ10名程度

⑤今後の課題について

- ・不適切施設について

平成26年度に大阪府に対し堺・横浜で実施している集中スクーリングの説明を行い、不適切施設改善の理解は得た。
平成27年度以降も引き続き集中スクーリングを実施することで、不適切施設の問題は解決に向かう予定である。

5. 財務の概要（別紙参照）

サポートクラスの生徒数増により財務状況は好調であり、平成27年度も引き続き期待ができる。※詳細は別紙当初予算書類を参照。
財務状況は好調だが、経費削減や人件費の抑制などの取り組みも引き続き行い、安定した教育活動を実施できるようにする所存である。